

1. 地下水検討委員会について

1 - 1. 地下水検討委員会の目的

地下水委員会は、大和北道路のルート・構造の検討にあたり、地下水の現況分析と、道路建設と地下水挙動等との関係について予測・評価を行い、今後のルート・構造の検討に必要な基礎資料を作成することを目的とした。

1 - 2. 地下水検討委員会のメンバー

地下水検討委員会は、以下のメンバーで構成した。

所 属	氏 名	備 考
京都大学大学院工学研究科土木システム工学専攻教授	大西 有三	座長役
奈良教育大学教育学部教授	谷口 真人	
東京大学工学系研究科地球システム工学専攻助教授	登坂 博行	
岡山大学環境理工学部環境デザイン工学科教授	西垣 誠	
独立行政法人土木研究所材料地盤研究グループ長	三木 博史	

2. 大和北道路概要と地下水検討について

2 - 1. 京奈和自動車道「大和北道路」の概要

京奈和自動車道は、京都市から奈良市等を経て和歌山市に至る延長約 120km の高規格幹線道路であり、現在、早期完成を目指し、奈良県内、和歌山県内で整備が進められている。

本道路は、広域的には関西の外郭環状道路の機能を有し、京都縦貫自動車道、第二名神高速道路、西名阪自動車道、近畿自動車道紀勢線などと連携して有機的な自専道ネットワークを形成し、近畿大都市圏での移動時間を短縮するとともに、京都～奈良～和歌山の拠点都市の連携を強化する役割を担っている。

また、地域的には、自然と歴史・文化が息づく良好な住居環境を持つ京奈和地域において、地域の特色を踏まえたまちづくりを支援するとともに、国道 2 4 号の渋滞緩和、交通安全の向上、走行時間の短縮、定時性の確保など、地域の活性化さらには関西学術文化研究都市などの開発計画に対する支援といった重要な役割が期待されている。

大和北道路は、奈良県域の京奈和自動車道の北端部を構成する道路であり、奈良市及び大和郡山市付近における国道 2 4 号をはじめとする幹線道路の交通混雑の緩和、交通環境の改善を図る役割を果たすとともに、近畿全体の高速交通ネットワークを形成するためには欠くことのできない重要な道路である。

2 - 2. 地下水検討の必要性

大和北道路の調査・計画については、大きくは、

国道 2 4 号奈良バイパス周辺を中心とした「中央エリア」

春日山周辺の山地部を中心とする「東側エリア」

奈良市・大和郡山市西部の「西側エリア」

のエリアにおいて、大和平野周辺部も含め、幅広く、現況土地利用、土地利用計画、文化財分布、沿道環境などを勘案し、検討が進められている。

特に、「中央エリア」の北部地域においては、既成市街地および世界文化遺産の「平城宮跡」をはじめとするきわめて重要な文化財が数多く存在しており、この地域でルート・構造を検討するためには、文化財の保全等の観点より、埋蔵文化財や地下水の現況を正確に把握したうえで、道路建設と地下水挙動との関係について予測・評価を行う必要がある。